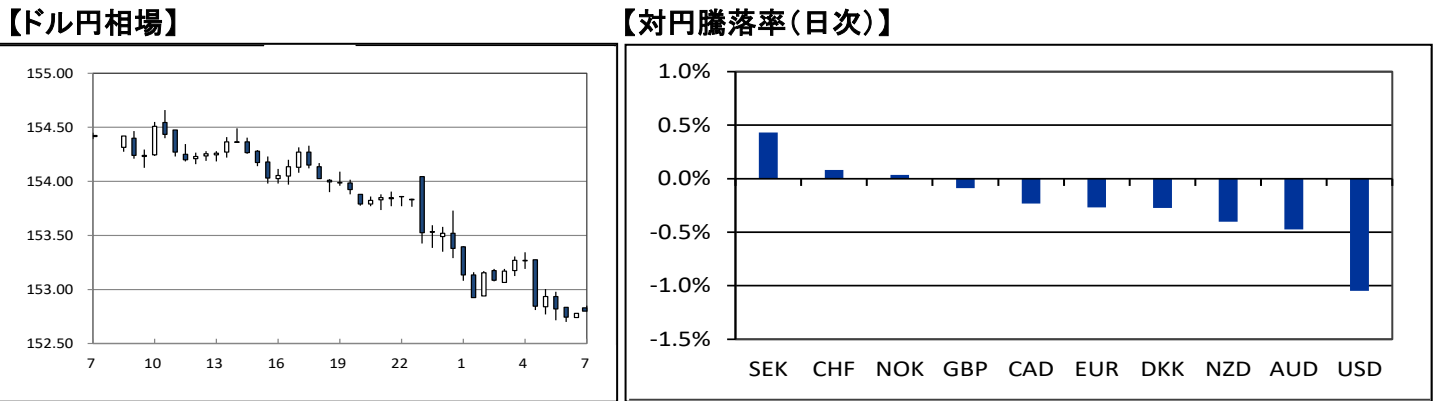


	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	154.53
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	154.23	1.0393	160.22	1.2451	0.6284
SYD-NY High	154.66	1.0468	161.16	1.2569	0.6322
SYD-NY Low	152.70	1.0374	159.10	1.2442	0.6255
NY 5:00 PM	152.80	1.0465	159.89	1.2569	0.6317
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,711.43	342.87	日本2年債	0.7900%	0.0000%
NASDAQ	19,945.64	295.69	日本10年債	1.3500%	0.0100%
S&P	6,115.07	63.10	米国2年債	4.3078%	▲0.0481%
日経平均	39,461.47	497.77	米国5年債	4.3903%	▲0.0782%
TOPIX	2,765.59	32.26	米国10年債	4.5318%	▲0.0931%
シカゴ日経先物	39,515.00	315.00	独10年債	2.4190%	▲0.0590%
ロンドンFT	8,764.72	▲ 42.72	英10年債	4.4900%	▲0.0530%
DAX	22,612.02	463.99	豪10年債	4.4890%	0.0300%
ハンセン指数	21,814.37	▲ 43.55	USDJPY 1M Vol	9.83%	0.04%
上海総合	3,332.48	▲ 13.90	USDJPY 3M Vol	10.08%	0.13%
NY金	2,945.40	16.70	USDJPY 6M Vol	9.94%	0.01%
WTI	71.29	▲ 0.08	USDJPY 1M 25RR	▲1.28%	Yen Call Over
CRB指数	313.19	1.61	EURJPY 3M Vol	10.68%	0.22%
ドルインデックス	107.31	▲ 0.63	EURJPY 6M Vol	10.48%	0.10%

東京	154.23レベルで東京オープンを迎えたUSD/JPYは仲値にかけて買い進まれ、10時過ぎに154.66の東京高値まで上伸。ただその後は一段の上値追いとはならず、反落。上昇していたEUR/JPYの買いにUSD/JPYも支えられたが、14時前後からアジア圏の売りが入る展開に一時大台154を割り込み、153.98の安値へ。154.03レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.03レベルでオープン。昨日の円売りを巻き戻すようにクロス円の下落を伴って153.74まで売られ、結局153.84レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2498レベルでオープン。英第4四半期GDPが予想を上回り、一時上昇するもすぐに売り戻され、結局1.2467レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台前半でスタート。米金利の低下が重しとなり、じり安で推移し、153.84レベルでNYオープン。朝方に発表された米1月PPIは予想を上回るも、コアPCE価格指数を算出する構成項目では減速傾向が見られたためか、米金利は低下で反応し、ドル円も153円台ちょうど付近まで反落。午後はトランプ政権が相互関税案の導入計画を発表した事を受け、リスクオフムードが広がり、152.70まで続落。その後は下げ渋り、152.80レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.03台後半でスタート。ウクライナとロシアの紛争終結期待から、ユーロ買いが優勢となり、1.0440まで上昇。しかし、その後は独金利の低下が重しとなり、1.0390レベルでNYオープン。朝方に発表された米PPIは予想を上回るも、ユーロドルは反応薄。その後一部で報道された「米政権による相互関税の実施まで数ヶ月の猶予が設けられる可能性がある」との報道を受け、1.0450付近まで上昇。午後はトランプ大統領が先述の相互関税の実施を発表し、発表後は瞬時に1.0374まで下落。しかし、その後実施時期等具体的な詳細が発表されなかった事から、その後再度1.0468まで反発し、1.0465レベルでクロス。

【昨日の指標等】					
Date	Time	Event	結果	予想	
2月13日	00:00	米	パウエルFRB議長 講演	「当面は景気抑制的な政策を維持したい」	
	02:00	米	ホスティック・アトランタ連銀総裁 講演	「中立水準の政策金利は3.0%～3.5%近辺になるだろう」	
	16:00	独	CPI(前月比/前月比)・確報	1月	-0.2%/2.3%
	16:00	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	12月	0.5%/-1.9%
	16:00	英	製造業生産(前月比/前年比)	12月	0.7%/-1.4%
	16:00	英	GDP(前期比/前年比)・速報	4Q	0.1%/1.4%
	16:00	英	個人消費(前期比)・速報	4Q	0.0%
	19:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	12月	-1.1%
	22:30	米	PPI(前月比/前年比)	1月	0.4%/3.5%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	8-Feb	213k
【本日の予定】					
Date	Time	Event	予想	前回	
2月14日	19:00	欧	GDP(前期比/前年比)・速報	4Q	0.0%/0.9%
	22:30	米	小売売上高速報(除自動車・前月比)	1月	-0.2%/0.3%
	23:15	米	鉱工業生産(前月比)	1月	0.3%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00-153.80	1.0380-1.0550	159.00-161.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は米1月PPIの結果を受けて米金利が低下した事に加えて米トランプ大統領が相互関税政策に関する措置に署名した事もあり、154円台半ばから152円台後半まで下落する軟調な展開となった。本日のドル円は米国時間に米1月小売売上高が発表されるため、発表までは152円台半ばから後半でもみ合う展開を想定。直近で発表された米1月雇用統計や米1月CPIは強めの結果だったため、米1月小売売上高も強めの結果となり発表直後のドル円は上昇する展開を予想する。一方で米トランプ政権の相互関税政策は即時発動されなかったため、今後の交渉の材料として相互関税政策は利用される可能性が高く引き続きヘッドラインには警戒したい。